

部活動の報告

にしやま まなみ

西山愛実さん(高陽中出身) 中国大会出場

8月17日(土)に、陸上の中国五県大会が山口県の維新みらいふスタジアムで開催され、2年生普通科の西山愛実さんが、女子400mに出場しました。59秒96のタイムで全体の12位となり、残念ながら予選落ちでした。

○本人のコメント

「初めての中国大会で、いつもと違う会場にとても緊張しました。今回いつもやっていることができず、周りに影響されてしまって思うような走り



当日の電光掲示板

りができなかったのがごく残念でした。そして、山口県まで来てもらった先生や親に結果という形で恩返しができなかったことが、とても悔しかったです。どんな状況でも臨機応変に対応できるようになりたいです。秋には大切な試合があるので、そこではきちんと記録を残して、また中国大

—第73回中国五県陸上競技対抗選手権大会 女子400m—

会で勝負したいです。気持ちを引き締めて頑張っていこうと思います。」

○顧問より

西山さんは、中学まではサッカーをしていて、高校に入り初めて専門的に取り組んだのが、この陸上競技の短距離でした。

入部して以来、暑い日も寒い日も、一度も休むことなく練習を行った努力がありました。試合や共同練習では、陸上競技を通じて知り合った他校の生徒ともすぐ仲良くなり、仲間を大切に競技できたことも中国大会につながりました。本人が言うように、これからは中国大会に“出場”で終わるのではなく、“勝負する”ことが目標です。さらなる高みを目指して、日々の過程を大切に一緒に勝負していこうと思います。

最後になりますが、いつも応援してくださる皆様、本当にありがとうございます。これからも、頑張りますので温かく見守ってやってください。

(陸上競技部顧問 木村大輔)



西山さん

—創立350年特別企画への協力のお願い—

旧閑谷学校の歴史の継承と創造

～聞き書きとアイデンティティの自覚～

創立350年記念事業の基本方針として、「本校と地域の発展」、「地域とのつながり」を中心に準備を進めています。その中で、「本校」と「地域」、「本校」と「同窓生の方」とのつながりをより明確にするために、本校生徒による同窓生の方への「聞き書き」を計画しています。聞き書きした現役の生徒は歴史の継承者としてのアイデンティティ(独自性)の自覚の表明をポスター等にまとめて公表する予定にしています。この活動を通して、本校生徒、地域の方、同窓生の方等本校に関わる多くの方々が本校の歴史に思いを寄せ、本校の歩みと未来に誇りと期待を感じてもらえたらと思います。

本校生徒による同窓生の方への「聞き書き」(予定)

- ◎「聞き書き」の対象となる同窓生の方：20名程度
- ◎「聞き書き」をする時期：令和2年2月～3月
- ◎「聞き書き」の内容：実際に生徒がお伺いし、在学当時の学校生活の様子や現在との違いなどをお聞きする予定です。

「聞き書き」をお願いする方には、事務局から連絡いたします。「聞き書き」後は、創立350年に合わせてポスター発表、また記念誌への掲載等を予定しています。お問い合わせは和気閑谷高校(TEL 0869-93-1188)まで。

編集後記

今夏は岡山県では気象観測史上最も遅い梅雨入りで、昨年豪雨が嘘のように雨量も少なく、昨今の気象状況に違和感を覚える今日この頃、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、来年に迫った創立350年に向けて、校内では実行委員会を立ち上げ内容を検討しています。同窓会としまして、この創立350年が1つの節目としてだけでなく、和気閑谷高校が未来に向けて地域の核となるべく、ステップの機会になってほしいと考えています。その目標達成に向けて、今回の会報は恐縮ではありますが、皆様をお願いする寄付金に関する内容が多くなっています。どうか意図をご理解いただき、同窓会にさらなるご支援をよろしく願います。

(高原 記)